

## ⑫ 公開特許公報(A) 平2-187859

⑬ Int. Cl.<sup>5</sup>  
G 06 F 15/21識別記号  
3 3 0庁内整理番号  
7165-5B

⑭ 公開 平成2年(1990)7月24日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全8頁)

⑮ 発明の名称 注文受付販売装置

⑯ 特 願 平1-6542

⑰ 出 願 平1(1989)1月13日

⑱ 発 明 者	庄 司 戈 止	大阪府守口市京阪本通2丁目18番地	三洋電機株式会社内
⑲ 発 明 者	阿 部 和 彦	大阪府守口市京阪本通2丁目18番地	三洋電機株式会社内
⑳ 出 願 人	三洋電機株式会社	大阪府守口市京阪本通2丁目18番地	
㉑ 代 理 人	弁理士 西野 卓嗣	外2名	

## 明 細 書

## 1. 発明の名称

注文受付販売装置

## 2. 特許請求の範囲

1. センター装置と注文受付端末装置とをオンライン接続し、商品の注文操作にตอบสนองして該注文受付端末装置が発注データを出力すると、該発注データに基づき前記センター装置は宅配手続きを処理するようにした注文受付販売装置において、

前記センター装置の指示による宅配商品を保管するロッカー装置を備え、

該ロッカー装置は、あらかじめ設定される利用者情報を記憶している記憶装置と、前記センター装置の処理データである受取人情報を配達人が配達時に入力するための受取人情報入力装置と、該受取人情報が入力されると当該受取人情報と前記利用者情報とを照合し、一致により商品の預け入れを制御するとともに当該受取人情報を記憶する預け入れ制御手段と、受取人が本人情報を入力するための本人情報入力装置と、該本人情報が入力

されると当該本人情報と前記利用者情報とを照合し、一致により保管商品の取り出しを制御する取り出し制御手段とを設けたことを特徴とする注文受付販売装置。

## 3. 発明の詳細な説明

## (イ) 産業上の利用分野

本発明は、1または複数の注文受付装置にて任意の商品を選択することで発注が行えて、後に顧客のもとに商品を配送できるようにした注文受付販売装置に関する。

## (ロ) 従来の技術

このような販売装置は、特開昭62-194574号公報にも開示されているように、顧客が注文受付端末装置に商品の注文を行うと発注データがセンター装置へ伝送され、センター装置ではこの発注データを処理して配送の手続きを行うようになっている。

そして注文商品はセンター装置にて指示される場所まで宅配されることになるが、注文者が不在であったりすると、商品は配送所まで持ち帰らな

ければならず効率が悪いものとなる。しかもこのようなことが繰り返されると、とくに生鮮物の場合商品が傷み販売に適さなくなる不都合がある。そのため注文商品をロッカー（冷蔵ロッカー）に預けて後に注文者がロッカーを開けて商品を受け取るようにすれば、かかる問題点は解消される。

このようなロッカーとしては特開昭62-281100号公報に開示されている構成がある。これは配達人が予め付与されているIDカードをロッカー装置へ挿入することで、IDコード等の一致により配達商品をロッカー装置の収納ボックスへ収納できるようにし、商品の保管に使用する収納ボックスの番号及び受取人の固有データを記憶すると共に受取用カードを発行し、受取者が受取用カードを挿入し且つ自己の暗証番号を入力することにより、該当する収納ボックスから商品の取り出しを行い得るようにしたものである。

#### (ハ) 発明が解決しようとする課題

しかしながら上記のロッカー装置は、IDカードを所有した配達人しか荷物を預け入れできない

欠点がある。そのためかかるロッカー装置をこの発明が目的としている注文受付販売システムに利用すると、不特定の第三者では配達できないために販売のエリアや対象者が限定されることになって、広範囲の販売網が確立されるというこの種販売システムの特徴が有効に活用されないという課題がある。

したがって本発明は、不特定の第三者によっても預け入れが可能なロッカー装置を具備した注文受付販売装置を提供するものである。

#### (ニ) 課題を解決するための手段

上記の課題を解決するために本発明による注文受付販売装置は、センター装置と注文受付端末装置とをオンライン接続し、商品の注文操作にตอบสนองして該注文受付端末装置が発注データを出力すると、該発注データに基づき前記センター装置は宅配手続きを処理するようにした注文受付販売装置において、

前記センター装置の指示による宅配商品を保管するロッカー装置を備え、

該ロッカー装置は、あらかじめ設定される利用者情報を記憶している記憶装置と、前記センター装置の処理データである受取人情報を配達時に入力するための受取人情報入力装置と、該受取人情報が入力されると当該受取人情報と前記利用者情報とを照合し、一致により商品の預け入れを制御するとともに当該受取人情報を記憶する預け入れ制御手段と、受取人が本人情報を入力するための本人情報入力装置と、該本人情報が入力されると当該本人情報と前記利用者情報とを照合し、一致により保管商品の取り出しを制御する取り出し制御手段とを設けている。

#### (ホ) 作用

顧客が注文受付端末装置に宅配を希望する商品を入力すると、注文受付端末装置はこの注文情報をセンター装置に送信する。センター装置はこれらデータを受け取ると、宅配の手続きを処理し、これにより宅配荷物の配達人はセンター装置に指示された場所のロッカー装置まで商品運び、まずセンター装置の処理データである受取人情報を

ロッカー装置に入力する。ロッカー装置は受取人情報が入力されると、これを利用者情報と比較して、両者が一致していれば預け入れ制御手段にて商品の預かりを制御するとともに受取人情報を記憶する。

そして受取人が本人情報を入力すると、ロッカー装置は、この本人情報と預け入れ制御手段が記憶している受取人情報とを取り出し制御手段にて比較する。そして取り出し制御手段は両者が一致していると、この受取人情報に関する保管商品の取り出しを制御する。

#### (ヘ) 実施例

第1図は本発明による注文受付販売装置を利用した販売システムの実施例を説明する図であり、1は注文受付端末装置、2はセンター装置、3はロッカー装置で、注文受付端末装置1とセンター装置2とは通信回線を通してオンライン接続されている。注文受付端末装置1は顧客にて宅配の注文がなされると、注文内容及び顧客情報を示す発注データをセンター装置2に送信するようになっ

ている。センター装置2はこの発注データを受け取ると、それに応じた情報を商品メーカー及び配送センターに伝達するが、これら情報は、フロッピーディスク渡しによるオフラインや回線オンラインにて伝達される。そして配送センターは、メーカーからの物流やセンター装置からの情報に基づき発注された商品をロッカー装置3まで配達する。

以下、本発明の注文受付端末装置1、センター装置2、ロッカー装置3について、具体的に説明していく。

注文受付端末装置1は画像により提供される商品情報の中から任意の商品を選択することで発注を可能にするもので、第2図に示すごとく発注動作を制御するデータ処理装置4を備えて、このデータ処理装置4には、記憶装置5と、画像再生装置6と、顧客が宅配を希望する商品を入力するための入力装置7と、レシート発行装置8と、注文受付端末装置1に挿入されるクレジットカードを読み取るカードリーダー9と、顧客の注文内容を

を配列しており、顧客はこのキーを操作することで発注を行う。

センター装置2は、モデム14を通して受け取った発注データに基づき宅配の手続き処理を行うデータ処理装置16と、データ処理装置16による処理データを出力するディスプレイ17及びプリンタ18を含む。

ロッカー装置3は、宅配商品を保管するための保管ボックス10を複数備え(第4図)、これらの保管ボックス10はコントローラ11により扉の解錠/施錠が制御されている。コントローラ11は第5図に示すように制御部19を備え、この制御部19には、カード挿入口14から挿入されるクレジットカードに記録されている情報を読み取るクレジットカードリーダー12と、配達人が受取人情報を入力するための入力装置15と、各保管ボックス10に対応する鍵装置20と、商品が引き取られたことを記録するプリンタ25と、商品を預け入れるまたは取り出す保管ボックス10を表示する表示器27と、配達人が預け入れ時

表す発注データをセンター装置2へ送信するモデム13とを接続している。

画像再生装置6には、客待ち状態で表示する環境映像や注文商品を示す写真等をビデオ信号で記憶しているフロッピーディスク装置6Aが接続されており、データ処理装置4にて画像コードが示されると、画像再生装置6はフロッピーディスク装置6Aから該当するビデオ信号を検索して画面に表示する。また画像再生装置6はグラフィック画面も表示可能で、この場合、データ処理装置4が記憶装置5から読み取るRGBデータに基づき注文受付端末装置の操作手順や説明画面などを表示する。

第3図は注文受付端末装置1の外観斜視図を示しており、筐体29の上部の前面には画像再生装置6の画面30が配置されて、その下方には、カードリーダー9に連通するカード投入口31と、レシート発行装置8にて発行されるレシートの取出口32とが設けられる。そして筐体29に取り付けられる操作卓33には入力装置7のキー34

に操作する預け入れボタン35とを接続している。

本例では注文時に使用したクレジットカードをロッカー装置3に投入することで、そこ保管されている荷物の受け取りが可能となる。したがってこの場合、投入されたクレジットカードに記録されている情報が本人情報となり、そしてクレジットカードの記録情報を読み取るリーダー12は本人情報入力装置となる。

そして制御部19は、受取人情報が入力されたとき商品の預け入れを制御する預け入れ制御手段21と、有効なクレジットカードの投入にて保管商品の取り出しを制御する取り出し制御手段22と、各鍵装置20の解錠/施錠を制御する鍵制御手段23と、プリンタ25が取引の記録をプリントアウトするのを制御する取引記録制御手段24と、表示器27を制御する表示制御手段26と、このロッカー装置を使用できる利用者の情報を記憶している記憶装置28とを含む。預け入れ制御手段21は、保管を決定した保管ボックス10の鍵装置20の施錠を指令する信号を鍵制御手段2

3に出力することで、宅配商品の預け入れを制御する。また取り出し制御手段22は、配達人が入力した受取人情報と利用者情報とが一致していると、所定の保管ボックス10の鍵装置20の解錠を指令する信号を鍵制御手段23に出力することで、保管商品の取り出しを制御する。また利用者情報はあらかじめ記憶装置28にセットされているが、制御部19は例えば入力装置15にて入力された情報を記憶装置28に書き込む。

第6図のフローチャートにて注文受付端末装置1の動作を説明する。

最初のステップS1において、データ処理装置4は画像再生装置6に客待ち状態での表示を指示し、これにより画像再生装置6はフロッピーディスク装置5から環境映像のビデオ信号を検索して画面30に表示する。またこのステップにおいてデータ処理装置4は、記憶装置5から客待ち状態でのグラフィック画面に関するRGBデータを読み取って画像再生装置6に出力し、画像再生装置6は写真画像に操作手順などの文字や図形をスー

パーインポーズした案内画像を表示する。

つぎのステップS2において、データ処理装置4はクレジットカードリーダー9へのカードの投入を検知し、クレジットカードが投入されているとステップS3に進む。このステップS3においては、クレジットカードリーダー9が読み取ったカード情報の適正を判別する。クレジットカードの適正判別は自己の有しているデータベースと照合する方法と、オンラインにてカードセンターにクレジット情報を伝送してカードセンターでの照合結果を受け取る方法とがあるが、クレジットカードが適正であるとステップS4に進む。

このステップS4において、データ処理装置4は画像再生装置6に注文動作時の画像を表示するよう指示するとともに、商品の指定を促す文字や図形のグラフィック画面を表すRGBデータを記憶装置5から読み取って画像再生装置6に出力する。これにより画像再生装置6は注文可能な商品の写真画面を表示し、これに文字や図形をスーパーインポーズする。

つぎのステップS5では、データ処理装置4は商品が選択されたかを判別し、選択されていないとステップS6に進む。このステップS6ステップでは、データ処理装置4は顧客が入力装置7のキー34を操作して商品画面の更新を指示しているかを判別し、更新を指示しているとなつぎのステップS7に進んで表示画面の更新のコマンドを画像再生装置6に出力した後ステップS4に戻る。したがってステップS4で画像再生装置6は新たな商品を画面30に表示する。

しかしステップS5において画面30に表示している商品が選択されると、データ処理装置4はステップS8でこの商品の注文を登録する。このときデータ処理装置4は商品の登録と同時に、投入されたクレジットカードに記録されている情報を顧客情報として登録する。またデータ処理装置4には注文商品を配達するロッカー装置3が特定されなければならないが、それにはデータ処理装置4が顧客情報に応じて自ら特定するか、または顧客によって直接入力されるかの2通りの方法

がある。

つぎのステップS9においてデータ処理装置4は、レシートを発行するようレシート発行装置8を制御する。この場合レシートには、商品を受け取るロッカー装置を示す内容が印刷されているのが好ましい。

そしてステップS10では、データ処理装置4は注文商品、配達するロッカー装置3を指定する情報、および顧客情報を示す発注データをセンター装置2へ送信する。

センター装置2はモデム14を通してデータを受け取ると、これらデータをデータ処理装置16にて処理して商品代金を決済すると共に、メーカーおよび配送センターに対しては注文商品の宅配の手続きを行う。例えばプリンタ18は、データ処理装置16に制御されて注文者及び配達するロッカー装置の情報をプリントアウトしてインボイスを発行する。そしてこのインボイスは配送センターに送られて配達人に渡され、配達人はインボイスによって指示されたロッカー装置3まで商品

を配達する。

ロッカー装置3の動作を第7図のフローチャートによって説明する。

コントローラ11は、ステップS'100ではクレジットカードの投入を判別し、つぎのステップS'101では預け入れボタン35のオンを判別する。

配達人がセンター装置2に指示された場所のロッカー装置3まで商品を選び、そしてこれを保管する場合には預け入れボタン35をオンすることになるが、これによりコントローラ11の処理はステップS'102に進む。配達人は預け入れボタン35をオンすると、次はインボイスに記録されている受取人情報を入力装置15によって入力する。したがってコントローラ11はステップS'102で受取人情報を入力すると、つぎのステップS'103では預け入れ制御手段21にて、この受取人情報と記憶装置28が記憶している利用者情報とを照合し、当該ロッカー装置の利用可能者であるかを判別する。そしてステップS'

号を出力する。そしてステップS'109では、配達人がインボイスを見て入力した受取人情報と商品を収納した保管ボックス10の番号とを記憶する。

尚、空いている保管ボックス10を決定するのに、配達人が直接捜してその保管ボックス番号を入力装置15にてコントローラ11へ記憶させる方法でもよい。

こうしてロッカー装置3は商品の預かりを終了するが、つぎに受取人によって商品が取り出されるときの動作を説明する。

この場合、受取人はカード投入口14にクレジットカードを投入するが、リーダー12がカードに記憶されている情報を読み取ると、コントローラ11の処理はステップS'100からステップS'110に進む。コントローラ11はこのステップでは、リーダー12の読み取った本人情報と預け入れ制御手段21に記憶されている受取人情報とを照合する。そしてつぎのステップS'111で預け入れ制御手段21が当該本人情報に

104にて受取人情報と利用者情報とが一致しているのを検出すると、つぎのステップS'105に進む。

このステップS'105においてコントローラ11は、現時点で商品を収納している保管ボックス10の番号を全て記憶している預け入れ制御手段21の制御にて空きの保管ボックス10を捜し、商品を保管する保管ボックス10を決める。そしてつぎのステップS'106では表示制御手段26の制御により、預け入れ制御手段21にて決定の保管ボックス10の番号を表示器27に表示する。

これにより配達人は、表示器27に表示された番号に対応する保管ボックス10に商品を収納して扉を閉める。したがってコントローラ11はステップS'107で扉の閉止を図示しないスイッチにて検知するとつぎのステップS'108に進む。このステップでは鍵制御手段23が動作して、預け入れ制御手段21が保管を決定した保管ボックス10に対応する鍵装置20に対し施錠信

該当する受取人情報を記憶しているのを検出すると、コントローラ11はつぎのステップS'112の処理に進む。

ステップS'112では表示制御手段26の制御により、預け入れ制御手段21が一致を検出した受取人情報に該当する保管ボックス10の番号を表示器27に表示する。つぎのステップS'113では、鍵制御手段23は一致したコードに該当する保管ボックス10の鍵装置20に対し解錠信号を出力し、保管ボックス10からの商品の取り出しが可能となる。そしてつぎのステップS'114においては、取り出し制御手段22にて取引記録制御手段24が動作し、これによりプリンタ25が動作して商品の引き取りがあったことを記録する。この記録紙はロッカー3装置内に保存するものであるが、取引記録制御手段24は例えば時計手段を含み、取り出し制御手段22が施錠信号を出力した時間情報をプリンタ25に出力することで引き取り日時を記録として残す。

上記した注文受付販売装置は、ロッカー装置3

のコントローラー 11 に、このロッカー装置を使用することができる利用者を特定する利用者情報をあらかじめ設定しておき、配達人がセンター装置 2 に指示された受取人情報を入力したとき、これら情報が一致していると商品の預け入れが可能となる。

そして受取人は注文時に使用したカードをロッカー装置 3 へ投入することで本人情報を入力するが、この本人情報と受取人情報とが一致していると、ロッカー装置 3 に保管された商品の受け取りが可能となる。

#### (ト) 発明の効果

本発明によれば、注文に基づく受取人情報がロッカー装置に設定されている利用者情報と一致している場合にのみ商品の預け入れが可能となるために、ロッカー装置が悪戯されることがない。しかも受取人情報さえ知っていれば誰でも配達商品を預け入れることができ、不特定の第三者にても配達が可能のために利用度の高い注文受付販売装置が提供される。

#### 4. 図面の簡単な説明

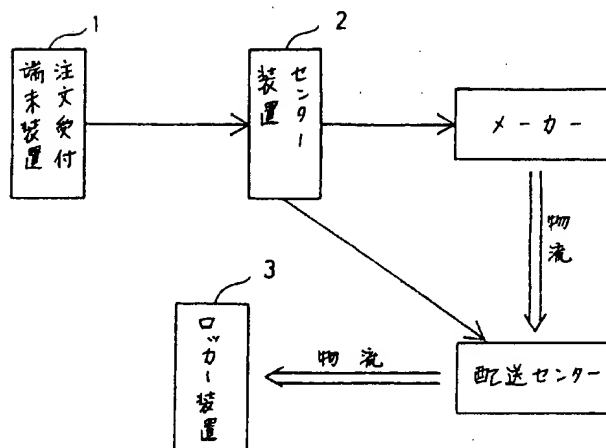
第 1 図は本発明による注文受付販売装置を利用した販売システムの実施例図、第 2 図は注文受付端末装置とセンター装置の構成を示す図、第 3 図は注文受付端末装置の外観斜視図、第 4 図はロッカー装置の外観図、第 5 図はロッカー装置のコントローラーの構成図、第 6 図は注文受付端末装置の動作を説明するフローチャート、第 7 図はロッカー装置の動作を説明するフローチャートである。

1・・・センター装置、2・・・注文受付端末装置、3・・・ロッカー装置、12・・・本人情報入力装置（カードリーダー）、15・・・受取人情報入力装置、21・・・預け入れ制御手段、22・・・取り出し制御手段、28・・・記憶装置。

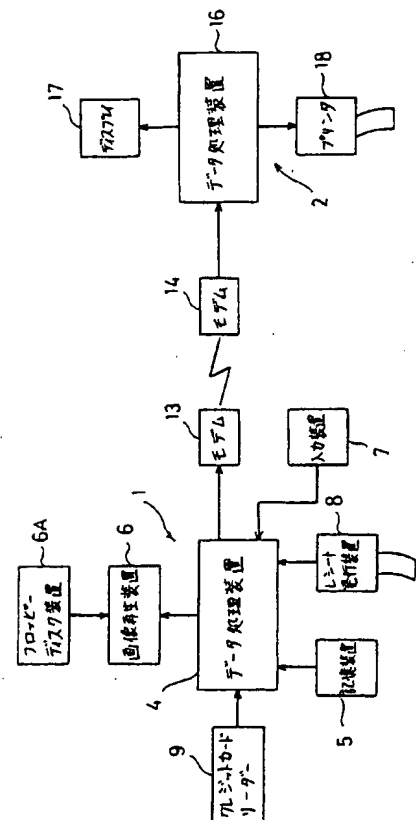
出願人 三洋電機株式会社

代理人 弁理士 西野卓嗣 外 2 名

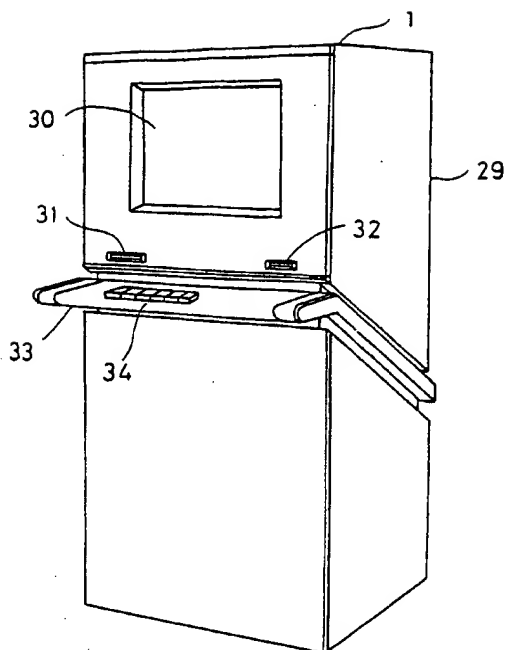
第 1 図



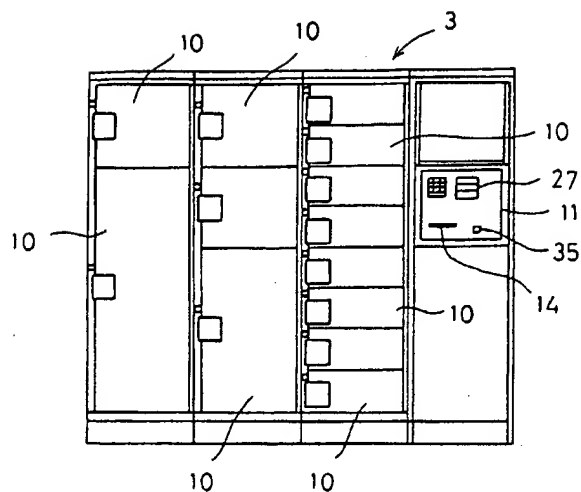
第 2 図



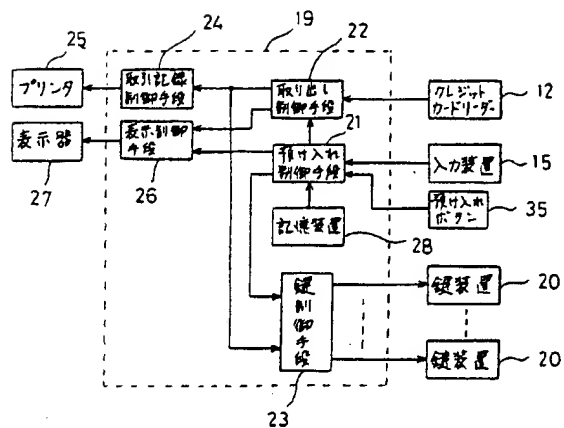
第 3 図



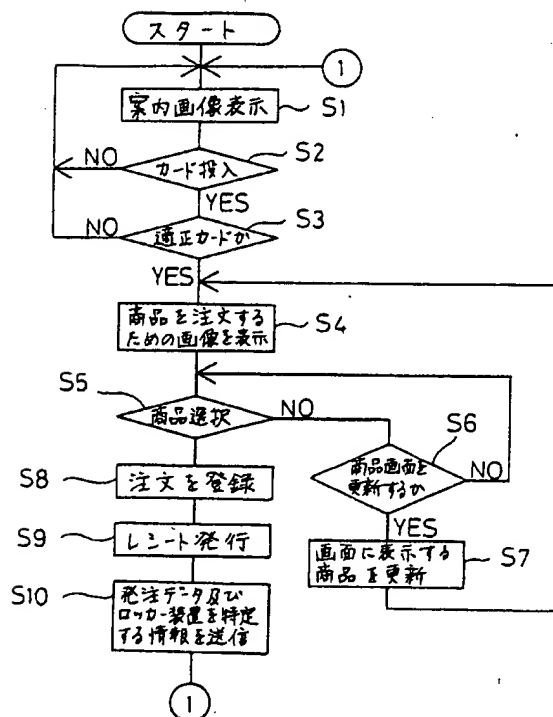
第 4 図



第 5 図



第 6 図



第 7 図

